

ことができるもので、公平な入札を行うための一般的な手法です。

●指名競争入札とは、地方自治体などの発注機関が、競争入札に参加できる事業者をあらかじめ指定した上で、指定された入札参加者の間で入札金額を競う手法です。

一般競争入札は、自由競争性が担保されるため、談合や癒着を防止できるというメリットがありますが、他方で、入札参加条件さえ満たしていれば、どんな企業でも参加できるため、契約を勝ち取った企業が十分な資金力やノウハウを持っていないために、結果として事業が失敗したり、余計な費用がかかるというリスクがあります。

指名競争入札は、すでに実績や資本力のある企業を指名できるため、一般競争入札のようなリスクを回避できたり、入札期間を短縮したりできるメリットがある一方で、談合や癒着が生まれやすく、新規事業者が参入しにくいというデメリットがあります。

よって、いずれの手法が絶対に素晴らしいというものではありませんので、周辺自治体の現状をリサーチしてみました。

これを図表にしたものを一般質問の際に、議場では配布しました。図表の赤の部分が指名競争入札なのですが、図表一番左側の王寺町の場合は、工事設計金額が500万円以上1億円までが指名競争入札となっています。各自治体ごとに特色があつてしかるべきだとは思いますが、いかに、王寺町が指名競争入札の範囲が広いことが分かるのではないのでしょうか。今後、他の自治体の現状も調べつつ、より良い制度設計にしていくべきだと思いますが、改善を全く考えていないというような回答は残念に思います。

☆後援会のご案内☆

住所：奈良県北葛城郡王寺町本町 2-20-2

tel：0745-73-5080 / fax0745-32-7869

携帯：090-3354-3075

email：waka.kazumi.nara@gmail.com

※事務所へのお問い合わせはメールがスムーズです。
※会員になっていただくと、ご自宅へ定期的に会報をお送りいたします（会費無料）。

意見書提出！全会一致で可決！

令和3年6月定例会で、「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」を提出させていただきました。

日本は女性差別撤廃条約を批准していますが、この条約の実効性を強化するための女性差別撤廃条約選択議定書については、まだ批准していません。現在、国会において、選択議定書の批准を求める請願が採択されており、地方議会からも選択議定書の批准を求める意見書が提出されるなど、選択議定書の批准を早期に求める声は高まっています。

男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数2021」によると、日本は世界156ヶ国中120位で、男女平等の後進性は顕著と言えます。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、非正規職員の雇止めによる離職についても女性へのしわ寄せが顕著であり、自殺率も高まっています。

女性差別撤廃条約が採択されてから40年を超えた今、女性の権利を国際水準に高め、女性活躍の推進を推し進めるためにも、早期の女性差別撤廃条約選択議定書の批准が必要であることから、意見書を提出させていただき、議会の皆様のご理解を得て、全会一致での可決となりました。

花子さん「へ〜。そんなん出したりするんや〜。」

若林かずみ「そうなんです。王寺町の条例や施策を議論するだけではなく、地方から国に意見を発信することも地方議員のお仕事なんです。」

花子さん「国に物申すわけや！」

若林かずみ「地方から国を変えていこう！という機運はありますよ」

花子さん「ところで、この間、テレビに映ってたよね〜」

若林かずみ「あー、NHKの『奈良なび』ですね。マスクしてたのに〜分かりましたか？？」

花子さん「分かる分かる！だって、動きに特徴あるし〜（笑）」

若林かずみ「…（苦笑）」

※次回の王寺町政ナビでは、6月定例会で一般質問をさせていただいた「王寺町駅前事業」について特集させていただきます。



王寺町政ナビ

若林かずみと王寺町の発展を目指す会誌 vo7

○発災時の業務継続計画
○入札制度 などなど

王寺町議会議員

わかばやし

若林かずみ

令和3年8月1日発行

《ご挨拶》

暑中お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続きますが、いよいよオリンピックも始まり、日本代表の選手の皆さんの素晴らしい活躍をTVで観戦し、元気をいただいているのではないのでしょうか。

他方、7月29日には、1日あたりの新型コロナウイルスの国内感染者数が初めて1万人を超え、奈良県に隣接する大阪府にも再び8月2日から31日まで緊急事態宣言が発令されることとなりました。

さて、奈良県では、8月2日まで、高い危機意識を持ち続けながら、感染拡大を抑え、全力で命を守る取組を進めるため、「緊急対応措置」が実行されています。7月30日付けの奈良県知事コメントでは、奈良県の緊急対応措置が継続されるかについては言及されていませんが、奈良県下の感染は、大阪との往来による感染の比率が高くなっていますので、今後も、引き続き、大阪への不要不急の外出は控えるようお願いいたします。

また、令和3年7月30日時点での王寺町の新型コロナワクチン集団接種の実施状況ですが、まず、【65歳以上の高齢者】の1回目の接種率が91.7%、2回目の接種率が86.6%です。65歳以上の方に関しては、接種を希望される方には、ほぼ全員に接種が完了している状態です。【60歳～64歳】は7月10日接種開始となり、1回目の接種率は12.7%です。【40歳以上】の方は7月26日（月）午前9時から、また、【12歳以上】の方は8月2日（月）午前9時から受付対象となりました。詳細については、王寺町の公式サイトをご参照下さい。

今回は、王寺町在住の大学生・太郎君の祖母花子さん（68歳）が登場！花子さんと若林かずみが王寺町政について語ります。

花子さん「かずみちゃ〜ん、最近、暑いね〜。元気〜？」

若林かずみ「花子さん！お久しぶりです。暑いですよ〜。この間までは雨続きだったのに」

花子さん「ホントに。暑いから雨も降ってほしいけど、降りすぎは困るわ。最近は、いつ何が起きるか分からへんから、また、水害があるんちゃうか…とか思ってしまうわ」

若林かずみ「そうですね…。昭和57年災害は8月1日から3日の出来事でしたし、丁度、今頃

のことでしたよね。」

花子さん「かずみちゃんも被災したんやっただけ？」

若林かずみ「うちの家は、高台なので、被災しないんですが、父が救助してきた女性がうちの家に避難されてきて、一晩中お話を覚えています。」

花子さん「あの時は、地域みんなも役場も総出だったなあ。」

若林かずみ「災害が起きると、役場も通常業務の他に、災害への対応も必要となりますからね。何かと大変です。そこで、発災時の役場の業務継続計画について、令和3年3月の一般質問で伺いました。」

